

学校法人千葉経済学園

平成20年度事業報告書

1 法人の概要

【設置する学校・学部・学科等】	1
【役員の概要】	1
【学校・学部等の入学定員、学生数】	2
【教職員の概要】	2

2 事業の概要

【当該年度の事業の概要】	3
--------------	---

3 財務の概要

【消費収支計算書の推移】	7
【貸借対照表の推移】	7
【財務比率表】	8

1 法人の概要

【設置する学校・学部・学科等】

- 千葉経済大学
 - ・経済学部
 - ・経済学研究科（修士）
- 千葉経済大学短期大学部
 - ・ビジネスライフ学科
 - ・こども学科
- 千葉経済大学附属高等学校
 - 全日制課程
 - ・普通科
 - ・商業科
 - ・情報処理科
 - ・建築科

【役員の概要】

○理事・監事

※平成21年3月31日現在

氏名	種別	形態	兼職名
佐久間 勝彦	理事	常勤	短大学長、高校校長
小滝 敏之	理事	常勤	大学学長
鈴木 信雄	理事	常勤	大学学部長
佐久間 達郎	理事	常勤	法人事務局長
永井 幸喜	理事	非常勤	ケーヨー名誉顧問
勝又 基夫	理事	非常勤	千葉トヨペット代表取締役社長
綿貫 弘一	理事	非常勤	京葉銀行代表取締役会長
川瀬 茂	理事	非常勤	（元三越監査役）
佐川 八重子	理事	非常勤	桜ゴルフ代表取締役
磐城 博司	理事	非常勤	明治安田生命保険顧問
小澤 慶和	理事	非常勤	東葉高速鉄道代表取締役社長
池澤 秀夫	監事	非常勤	千葉興業銀行取締役頭取
横山 秀明	監事	非常勤	ソフィアスタッフ会長

○評議員

石川次郎議長（千葉銀行顧問）、安田敬一議長代理（安田教育振興会理事長）
以下27名

【学校・学部等の入学定員、学生数】

※平成20年5月1日現在 (単位：名)

学校・学部学科別	入学定員	収容定員	現員
千葉経済大学	260	1,020	1,084
・経済学研究科	10	20	13
・経済学部	250	1,000	1,071
千葉経済大学短期大学部	350	700	736
・ビジネスライフ学科	150	300	317
・こども学科	200	400	419
千葉経済大学附属高等学校	600	1,905	1,441
・普通科	360	1,035	926
・商業科	120	510	215
・情報処理科	80	240	272
・建築科	40	120	28
学園総合計	1,210	3,625	3,261

【教職員の概要】

※平成20年5月1日現在 (単位：名)

学校・学部学科別	専任教員	専任職員	合計
千葉経済大学	36	25	61
千葉経済大学短期大学部	31	12	43
千葉経済大学附属高等学校	86	20	106
学園総合計	153	57	210

2 事業の概要

建学の精神「片手に論語、片手に算盤」及び校是・校訓に基づき、教育の質の確保、向上を図り、良識と創意に満ちた感性豊かな人材育成実現に向け、それぞれ教育研究を行った。平成20年度に実施した事業の主な内容は次のとおりである。

「千葉経済大学」

1 教育環境、施設・設備等の整備

広く学生を誘致し、また、学習・教育効果を高めるため、次のとおり教育環境、施設・設備の整備を行った。

① 校門及び前庭の整備改修

校門及び校門周辺の前庭を、未来に向けた開放的で魅力ある交流空間に整備改修した。

② 情報教育環境の整備

パソコン教室(209・305・306・501)に新機種パソコン167台を導入するとともに、305・501教室の機の更新を行った。

③ 講義室の机・椅子の改善

1号館5階の演習室(502・503・504・505・506・507・508・509)の机86台、椅子172脚の更新を行った。

④ 視聴覚機器・システムの導入

406教室に視聴覚機器システムを新規に導入した。

2 カリキュラムの改定

① 通年科目を半期科目に移行した。

② 教養科目を充実させた。

③ 成績評価基準に〈秀〉を導入した。

3 教職課程(中学社会)開設の申請

現行の教職課程(高校公民)に加え、教職課程(中学社会)の平成21年度開設に向けて、文部科学省への申請を行い認可された。

4 入学・編入学試験の拡充

- ① 平成 21 年度入試より、A0 入試 D 日程を追加新設した。
- ② 平成 21 年度入試より、編入学試験において、現行の 3 年次編入制に加え、2 年次編入制を新設するとともに、受験資格に専修学校専門課程修了者を加えた。

5 教員免許更新講習講座開設の申請

平成 21 年度から教員免許更新講習講座を開設するための申請を行い認可された。

6 特待生制度の拡充

平成 21 年度入試より、一般入試 A 日程のほか B 日程・C 日程及び附属高校推薦入試について、特待生制度を追加新設した。

7 公開講座、公開講演会の実施

前年に引き続き、地域社会への貢献及びニーズに応え、公開講座、公開講演会を次のとおり実施した。

① 公開講座

実施日：平成 20 年 10 月の土曜 4 回
講 師：本学教員
テーマ：「千葉県の過去・現在・未来」
参加者：延べ 2 4 8 名
会 場：本学 2-202 教室

② 公開講演会

実施日：平成 20 年 12 月 7 日（日）
講 師：中嶋康博 東京大学大学院農学生命科学研究科准教授
テーマ：「現在の食糧問題－安心・安全・安定の視点から－」
参加者：8 4 名
会 場：千葉市文化交流プラザ

③ 総合図書館公開講演会

実施日：平成 20 年 7 月 3 日(木)

講 師：石本道明 國學院大學中国文学科教授

テーマ：「経世済民の『論語』－素行・仁斎・澁澤榮一の目を通して－」

参加者：約 40 名

会 場：本学 1-208 教室

実施日：平成 20 年 12 月 6 日(土)

講 師：村山吉廣 早稲田大学名誉教授

テーマ：「孔子の人間学 －『論語』の解釈をめぐって－」

参加者：約 70 名

会 場：本学 2-201 教室

「千葉経済大学短期大学部」

1 教育環境、施設・設備等の整備

広く学生を誘致し、また、学習・教育効果を高めるため、次のとおり教育環境、施設・設備の整備を行った。

① 前庭の整備改修

千葉経済大学短期大学部後援会の開学 40 周年記念事業として、短期大学部の前庭を、明るいデザインの開放的な空間に整備改修した。

② 駐車場の改修

正門付近駐車場の屋根及び未稼働の車両昇降設備を撤去し、新駐車場として整備した。

③ 情報機器等の整備

パソコン教室(C11 教室・実習資料室・多目的演習室)に新機種パソコン 79 台を導入した。

④ 講義室の机・椅子の改善

本館 201・202・203 教室の机 216 台、椅子 216 脚の更新を行った。

2 教員免許更新講習講座開設の申請

平成 21 年度から教員免許更新講習講座を開設するための申請を行い認可された。

3 特待生制度の拡充

平成 21 年度入試より、附属高校推薦入試について、特待生制度を追加新設した。

4 開放講座の実施

鎌ヶ谷市教育委員会との共催で、開放講座「オープンカレッジかまがや」を次のとおり実施した。

実施日：平成20年8月から10月の土曜日に全8回

講 師：本学及び千葉経済大学教員

テーマ：「ときめいて 今日もいきいき 共に学ぼう」

参加者：延べ696名

会 場：鎌ヶ谷市中央公民館

「千葉経済大学附属高等学校」

1 教育環境、施設・設備の整備として次のとおり実施した。

① 旧武道場・旧体育館の改修

老朽化した旧武道場・旧体育館について床・窓・屋根の大改修を行った。

② 野球部中野グラウンドの整備

生徒の安全に配慮し、老朽化した野球部中野グラウンド外野フェンスの改修を行った。

③ 情報教育環境の整備

教員用のパソコン24台を新規に導入した。

④ 図書館設備の整備

図書館環境の一新による生徒のさらなる学習意欲の向上を意図し、前年のキャレルデスクに引続き、残りの椅子・テーブルの全面入替えを行った。

2 野球部の春・夏甲子園連続出場

野球部が春の甲子園大会(第80回記念選抜高等学校野球大会)、夏の甲子園大会(第90回全国高等学校野球選手権記念大会)に連続出場し、春の甲子園大会においてはベスト4の成績を収めた。

「千葉経済大学なでしこ幼稚園」

平成20年3月末をもって閉園した千葉経済大学なでしこ幼稚園の園舎等について、平成20年5月に取壊しを終了し、原状復帰のうえ都市基盤整備公団との土地賃借契約を解除した。

3 財務の概要

【消費収支計算書の推移】

(単位:千円)

科目	18年度 金額	19年度 金額	20年度 金額
消費収入の部			
学生生徒等納付金	2,695,516	2,686,000	2,587,855
手数料	68,486	62,898	62,370
寄付金	86,608	44,058	79,067
補助金	736,515	739,577	725,959
資産運用収入	37,776	39,929	40,026
資産売却差額	222	1,297	
事業収入	27,347	29,023	32,651
雑収入	95,008	117,818	243,071
帰属収入	3,747,478	3,720,598	3,770,999
基本金組入額	△ 125,172	△ 172,133	△ 137,093
消費収入の部合計	3,622,306	3,548,465	3,633,906
消費支出の部			
人件費支出	2,452,535	2,529,389	2,838,201
教育研究経費支出	1,065,029	1,006,360	973,633
管理経費	185,088	176,002	204,609
借入金等利息	36,339	35,033	31,694
資産処分差額	5,714		10,876
消費支出の部合計	3,744,706	3,746,784	4,059,012
当年度消費収入超過額	△ 122,400	△ 198,320	△ 425,106
当年度消費支出超過額			
前年度繰越消費支出超過額	1,294,330	1,414,870	1,613,189
基本金取崩額	1,861		
翌年度繰越消費支出超過額	1,414,870	1,613,189	2,038,296

【貸借対照表の推移】

(単位:千円)

科目	18年度 金額	19年度 金額	20年度 金額
資産の部			
固定資産	15,563,767	16,091,401	15,984,783
有形固定資産	14,884,585	14,704,741	14,583,134
その他の固定資産	679,182	1,386,660	1,401,649
流動資産	2,726,831	1,964,224	1,879,640
資産の部合計	18,290,597	18,055,625	17,864,423
負債の部			
固定負債	1,837,934	1,738,445	1,822,128
流動負債	1,107,558	998,262	1,011,390
負債の部合計	2,945,492	2,736,706	2,833,518
基本金の部			
第1号基本金	16,438,975	16,611,108	16,748,200
第2号基本金			
第4号基本金	321,000	321,000	321,000
基本金の部合計	16,759,975	16,932,108	17,069,200
消費収支差額の部			
消費収支差額の部合計	△ 1,414,870	△ 1,613,189	△ 2,038,296
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	18,290,597	18,055,625	17,864,423

【財 務 比 率 表】

消費収支計算書

(単位:%)

		平成18年度	平成19年度	平成20年度
人件費比率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	65.4	68.0	75.3
人件費依存率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	91.0	94.2	109.7
教育研究 経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰 属 収 入}}$	28.4	27.0	25.8
管理経費比率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	4.9	4.7	5.4
借入金等 利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{帰 属 収 入}}$	1.0	0.9	0.8

貸借対照表

(単位:%)

		平成18年度	平成19年度	平成20年度
固定資産 構成比率	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{総 資 産}}$	85.1	89.1	89.5
流動資産 構成比率	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{総 資 産}}$	14.9	10.9	10.5
固定負債 構成比率	$\frac{\text{固 定 負 債}}{\text{総 資 金}}$	10.0	9.6	10.2
流動負債 構成比率	$\frac{\text{流 動 負 債}}{\text{総 資 金}}$	6.1	5.5	5.7
自己資金 構成比率	$\frac{\text{自 己 資 金}}{\text{総 資 金}}$	83.9	84.8	84.1
消費収支差額 構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総 資 金}}$	△ 7.7	△ 8.9	△ 11.4

総資金＝負債・基本金・消費収支差額合計

自己資金＝基本金+消費収支差額